

《ににこを利用される方へ》

○当施設では、保育園併設型の病後児保育室です。

万が一の場合の医療対応ができません。園児への感染の可能性が大きい疾患や病状が急変する可能性が大きい疾患・状態では御利用いただけません。

嘱託医からの指導を受けて、当施設で利用受け入れを決定していますので、よろしく申し上げます。

利用できません

- ・ 麻疹、風疹、喘息、インフルエンザ 他
- ・ 各疾患の急性期
- ・ 熱が高い（朝から 38.0℃以上の場合）
- ・ 食欲がなく、ほとんど飲食できない
- ・ 下痢、嘔吐がひどい
- ・ 脱水症状の兆候がみられる
- ・ 活気がない、ぐったりしている 等

上記のような受診・治療が必要な状態のお子さんはお預かりできません。

また、同様の状態が保育中にみられた場合には、保護者の方に連絡し、お迎えをお願いするようになりますので、あらかじめ御了承下さい。

○当施設は医療機関ではありませんので、医療行為はできません。

保育中にどうしても必要な内服・外用薬のみ、保護者に代わり投薬しています。

座薬・吸入・注射 等 はできませんので、主治医と相談の上、必要な薬剤は内服・外用で処方してもらって下さい。

○医師からの隔離指示がある場合には、できる限りの対応を行っておりますが、当施設の構造上、完全隔離にはなりませんので、御理解のうえ御利用下さい。

【投薬依頼に必要なもの】

○投薬依頼書（日誌下に記入）

- ・必要事項すべてに記入して下さい。
- ・朝の投薬時間を必ず記入して下さい。

○薬の説明書

- ・病院や薬局から渡される薬の説明書（薬品名・処方日・副作用等が書かれている用紙）を必ずお持ちください。薬の内容が分からないと責任を持って管理することができませんので、お預かりできなくなります。

○薬

- ・軟膏以外の薬は 1回分ずつにして、服用する必要がある分のみお持ちください。
- ・薬本体に氏名・与薬日・与薬時間を明記して下さい。複数の薬を持ってくる場合でも1つ1つに明記して下さい。


以上のきまりを守って必ず職員に手渡しして下さい。

【記載例】

○粉薬

11 / 17 食前 or 食後 (又は時間) 氏名

○水薬

 11 / 17 食前 or 食後 (又は時間) 氏名
--

※水薬は必ず 1回分を容器に入れて下さい。

※水薬容器には、油性ペンで必要事項を記入して下さい。

※ 市販薬、自家製の薬、以前に処方されて残っていた薬、兄弟姉妹の薬は与薬できません。